

共同研究
～被爆100周年に向けた復興都市計画等の再検証～
特別講演・中間報告会

1945▼2045

次世代が描く広島

先人たちは広島に何を描いたのか
まちづくりに込められた思いを受け取り、
私たちは未来に何を描くのか

2026年
10月31日(土)
12:30～14:30(開場12:00)

広島国際会議場
大会議室「ダリア②」（地下２階）
（広島市中区中島町1-5）

定員１５０名（先着順）　参加無料

参加申込はこちら

左の２次元コードから
お申し込みください。

申込締切：１０月３０日(金)

※定員に達し次第、締め切らせていただきます。

プログラム

開会・趣旨説明
本共同研究の取組と、中間報告の趣旨をご紹介します。

特別講演
講師：丹下　憲孝 氏
（株式会社TANGE建築都市設計 代表取締役 / CEO）
父・丹下健三氏が携わった広島の復興とまちづくりを
振り返り、そこに込められた思いや考えについて
お話しいただきます。


Photo by 菊竹 規

共同研究参加学生による中間報告
これまでの講演や調査を通じて得た知見を踏まえ、学生たちが被爆100周年に向けた広島の都市のあり方について、現在までの検討成果を発表します。

まちとつながる企画も

2026 AUTUMN CITY SCAPE!

広島都心の「今」を感じる企画も準備中！
同日開催の「CITY SCAPE!」の会場とつなぎ、
まちなかの様子をリアルタイムでお届けします。
※企画の詳細は、後日お知らせします。

本中間報告会は、公益社団法人日本都市計画学会中国四国支部と広島市が進める「被爆100周年に向けた復興都市計画等の再検証に係る共同研究」の一環として開催するものです。本共同研究では、広島の復興都市計画に込められた思想や都市構造を振り返り、現在のまちの使われ方などを踏まえながら、被爆100周年に向けた広島の都市のあり方について検討しています。本中間報告会では、これまでの講演会等で得られた知見を踏まえ、学生による検討状況を報告します。

主催：公益社団法人日本都市計画学会中四国支部、広島市都市整備局　　協力：CITY SCAPE! 事務局